

2010年12月21日

報道関係者各位
プレスリリース

「首都圏情報産業特区・八王子」構想推進協議会
(サイバーシルクロード八王子)

『Android City 八王子』を目指して

～ 「OESF Android Open Lab.」開設を機に産業活性化を！ ～

「首都圏情報産業特区・八王子」構想推進協議会（サイバーシルクロード八王子）は、スマートフォンを代表とする携帯情報端末を主なターゲットとして開発された Google 社の無償 OS 「Android」の普及促進を図る一般社団法人 OESF の研究開発拠点が天神町（エイビット天神町ビル）に開設されることに伴い、「Android」をベースとしたアプリケーションやサービスを提供する若手起業家の育成や集積を図り、新たなハードウェアの開発促進による「ものづくり産業」活性化を目指すため、今後 OESF が推進する事業について連携支援を行います。

将来の可能性と拡張性を多分に秘めた「Android」を基軸とした産業活性化は、下記の点から、当市に存在するリソースを幅広く活かすことのできる千載一遇のチャンスであり、行政や大学とも連携しながら推進していきます。

- ◆当市に存在する21大学、11万人の学生との「産学共同研究」を推進することにより、若者ならではの「想像力」「発想力」をアプリケーションやハードウェア開発に活かすことができます。また OESF 会員企業（世界13カ国：約100社）や大学研究室、IT関連企業、通信機器メーカー等の出会いの場、ビジネスマッチングの機会を増やすことにより、新産業の創出が期待されます。
- ◆「Android」に関連する新たな技術系ベンチャーやIT起業家の集積を図るため、「本気の創業塾」や「ビジネスお助け隊」による支援、また八王子市の「オフィス賃料補助」やインキュベーション施設整備の促進を図る「起業家養成・育成事業」を積極活用し、当協議会設立以来のミッションでもある「情報産業」の集積、育成に繋がります。
- ◆「電子機器」や「制御系装置」の組み込みシステムとして今後様々な電化製品等に应用される可能性があることから、研究開発型企業とその基盤技術を支える多くの「ものづくり企業」の活性化に繋がります。
- ◆ 今後 OESF が展開する「Android」によるシステム開発、体験実習等の「人材教育プログラム」を活用し、地元IT企業のスキルアップと新事業展開への足がかりを作ります。

このたびは、サイバーシルクロード八王子との連携で、本施設をオープンできることを、大変うれしく思います。OESFでは、Androidをベースとし、産学官一体となった産業発展、若きエンジニアの育成、そして新たなビジネスの創出に、会員が協力して取り組んで参ります。ここでの成果を、世界に対して発信していくこともOESFの役割とっております。Android City 八王子が世界の注目を浴びる成果を創出できると確信しております。

一般社団法人 Open Embedded Software Foundation 代表理事 三浦雅孝



* 団体紹介 *

【サイバーシルクロード八王子】

八王子市と八王子商工会議所連携のもと、市内の豊富な資源を最大限に活用し、魅力ある産業都市“八王子”の形成に向け、平成13年10月に設立された産業活性化組織（正式名：「首都圏情報産業特区・八王子」構想推進協議会）。当市が企業家にとってより良い産業活動の場となるよう、経験豊富な企業OB、専門家によるボランティア組織「ビジネスお助け隊」の経営支援、中小企業後継者、リーダー的人材、起業家育成事業、「産・産・学」連携の推進、IT関連企業のネットワーク構築など、より実践的な産業活性化施策に取り組んでいます。

【OESF】

Open Handset Alliance のオープンソースプロジェクトであるAndroid™ をベースとした組み込みシステムの開発、構築等の事業に携わる企業により組織され、会員企業間での技術情報の共有、ベースとなるシステムの共同開発、技術者の育成、組み込み市場に対する共同マーケティング等を通じて、市場の発展と、各会員の事業の拡大を目指し組織されました。詳細情報はホームページ <http://www.oesf.jp/> をご覧ください。